

平成26年3月28日

原料費調整制度に基づく平成26年5月検針分のガス料金について (群馬地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成26年5月検針分の単位料金を、平成26年4月検針分比に比べ1m³ (43.14MJ)につき0.82円(消費税込)上方に調整いたします。

今回の調整は、平成25年12月～平成26年2月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に41m³のガスをお使いになる標準家庭で平成26年4月検針分と比較して、34円(消費税込)ガス料金が上がります。

平成26年5月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

1ヵ月のご使用量	(消費税込)		
	料金表A 0～26m ³	料金表B 27～522m ³	料金表C 523m ³ ～
基本料金 (円/月)	745.20	1,269.62	7,470.98
調整単位料金 (円/m ³)	133.31	113.14	101.26
調整単位料金 4月 (円/m ³)	132.49	112.32	100.44

2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 41m ³ (43.14MJ/m ³)	(消費税込)		
	平成26年 4月	平成26年 5月	増減
適用料金(円/月)	5,874	5,908	34

- 平成25年4月検針分の料金から、標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5ヵ年平均)に基づき、料金地区ごとに算定するよう変更いたしました。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成25年11月～平成26年1月 の平均 (4月検針分)	平成25年12月～平成26年2月 の平均 (5月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	32,180	33,250	1,070
LNG	85,370	88,100	2,730
LPG	102,700	107,440	4,740
基準平均原料価格(b)	29,380		
差額(a-b)	2,800	3,800	1,000

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 88,100 \times 0.3462 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 107,440 \times 0.0256 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &= 33,250.68 \\ &\quad \downarrow (100円未満四捨五入) \\ &= 33,250 \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} 33,250 \text{ 円/t} - 29,380 \text{ 円/t} &= 3,870 \text{ 円/t} \\ &\quad \downarrow (100円未満切捨て) \\ &= 3,800 \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= 3,800 \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.08208^* \\ &= 3.11 \text{ 円} \quad (\text{小数点第3位切捨て}) \end{aligned}$$

* 変動額100円につき単位料金を0.08208(0.076×1.08)円調整します

＜標準家庭における影響＞

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 41m ³ (43.14MJ/m ³)	平成26年 4月	平成26年 5月	増減
適用料金(円/月)	5,874	5,908	34

・ 標準家庭料金の計算方法

群馬地区

本体料金(税込み) = 基本料金(1,269.62円)

$$+ \text{調整単位料金}(110.03 \text{円}) + 3.11 \text{円} \times 41 \text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金↑

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(29,380円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.08208円(0.076円に1.08消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNGの貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が47,010円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は47,010円としてガス料金の調整を行います。